

自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成25年1月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。
平成25年1月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

◎調査店1店当たりの販売台数

平成25年1月の1店当たりの新車販売台数は前月比88.3%の11.3台となり、前年同月比では106.6%となった。車種別でみると前月比で上回ったのがシティ車117.9%で、横ばいが折りたたみ車、マウンテンバイクで、下回ったのがホーム車86.0%、子供車55.6%、幼児車50.0%、スポーツ車83.3%、電動アシスト車75.0%である。前年同月比では上回ったのがシティ車117.9%、ホーム車111.4%、折りたたみ車150.0%、子供車125.0%で、横ばいが幼児車、電動アシスト車で、下回ったのがマウンテンバイク75.0%、スポーツ車76.9%である。

◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、「2013年いよいよ始動、初売りはまずまずの動きで明るいさが見えたと思っているが、あまりにも寒く雪が多く20日以降は静かな毎日」(福島)、「1月14日雪。雪が降るとその後3、4日は商売にならない。でも1月としてはよいスタートがきれたのでやや満足」(千葉)、「1月はこの10年間で一番売れた月だった」(東京)、「1月に入ってチラシを出し、寒い日が続いたがまずまずの反応だった」(京都)など、年明けが好調だったと示すものがあった。しかし、「新しい年を迎えたが昨年末からの悪い流れは変わらない。寒さも商売も厳しい冬そのものだ」(宮城)、「2013年のスタートはやはり低調からになってしまった。明らかに昨年と違うのは、寒さもだが、何より“自転車本体が売れない”、今年は苦戦しそうな予感がする」(東京)、「覚悟はしていたが、それ以上の落ち込みだった。中古車をさばくのもままならない状況では、新車が売れるはずもない」(東京)、「去年の不況をそのまま持ち越したように販売も修理も悪い」(山口)、「新しい年に入ったが商売は少し足踏み状態。寒さで自転車に乗る気持ちも冷めているのか」(大分)など低調な出だしだったコメントや、「今月も動きが悪く月末近くに電動アシスト車が動いたが、春需の通学車はまだまだ動きがなく販売に不安だ」(三重)、「12月に引き続き1月も最悪の売上げ、2カ月続いて前年の40%減、今後不安がいっぱい」(兵庫)など、先行きが不安というものもあり、今年も厳しい状況は続きそうである。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗：100]

(平成25年1月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	本 月		前 月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	3.3	26.8	2.8	19.9	117.9	2.8	24.1	117.9
ホーム車	4.9	39.8	5.7	40.4	86.0	4.4	37.9	111.4
折りたたみ車	0.3	2.4	0.3	2.1	100.0	0.2	1.7	150.0
子供車	0.5	4.1	0.9	6.4	55.6	0.4	3.4	125.0
幼児車	0.2	1.6	0.4	2.8	50.0	0.2	1.7	100.0
マウンテンバイク	0.3	2.4	0.3	2.1	100.0	0.4	3.4	75.0
スポーツ車	1.0	8.1	1.2	8.5	83.3	1.3	11.2	76.9
電動アシスト車	0.9	7.3	1.2	8.5	75.0	0.9	7.8	100.0
合 計	11.3	91.9	12.8	90.8	88.3	10.6	91.4	106.6
中古車	1.0	8.1	1.3	9.2	76.9	1.0	8.6	100.0
総 合 計	12.3	100.0	14.1	100.0	87.2	11.6	100.0	106.0
モーターバイク	0.4	3.3	0.4	2.8	100.0	0.3	2.6	133.3

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。